

# expodisc v3

Professional White Balance Filter



## ExpoDiscの取り付け方

ExpoDisc Pro v3プロフェッショナル ホワイト バランスフィルターは、バヨネット マウント ステップリングを使用してレンズに取り付けます。また、82mまでのカメラレンズには、ExpoDiscの平らな面をカメラレンズに向けて、手持ちでかざして使用することもできます。



## ExpoDisc - ホワイトバランスの設定

- 1. レンズへのExpoDiscの装着** ExpoDisc v3プロフェッショナル ホワイト バランスフィルターをカメラレンズの前にバヨネット マウント ステップリングを使用して装着、もしくは、82mまでのカメラレンズには、ExpoDiscの平らな面をレンズに向けて、手持ちでかざして使用することもできます。
- 2. マニュアルフォーカスの設定** ExpoDiscをレンズに装着した状態でシャッターを切れない場合は、速やかにマニュアルフォーカスで設定します。または、カメラの背面に「AFON ボタン (AF-ONボタン)」が装備されているカメラでは、ホワイトバランス参照画像を見ながら、「AFON ボタン」でピントを合わせることができます。(この機能の設定については、ご使用されるカメラの取扱説明書をご参照してください)。
- 3. カメラの露出を設定** 環境光では絞り優先モードを使用し、ExpoDiscを通して適切な露出となるように設定します。マニュアルモードを使用する場合は、ホワイトバランスを設定する前に露出を設定します。

**4. カメラを構える** ほとんどの照明条件では、被写体の位置からカメラを光源の方向に向けます（カメラを入射光量計のように使用）。正確なホワイトバランスを得るには、被写体を照らす照明の色がExpoDiscを通過する必要があります。



**5. ホワイトバランス設定** この位置から、カスタムホワイトバランスを設定します（カメラの取扱説明書に従ってください）。ホワイトバランス参照画像を見ながら、被写体がグレーに見えないようにご注意ください。

**6. 設定完了** 必要に応じてレンズをオートフォーカスモードに戻します。ExpoDiscを取り外します。

## ExpoDisc - ホワイトバランスのヒント

**入射光を測定** ExpoDiscが入射光測光ツールであることを理解すると、ExpoDiscを正しく使用することができます。入射光を測定するには、被写体の位置に立ち、カメラを光源に向けてください。被写体の位置に立つことができない場合は、被写体と同じ光のある場所で測定してください。

**環境光** カメラを光源に向けてください。\*もし、被写体も反射光で照らされている場合（芝生の緑、塗り壁等）は、カメラを撮影位置に向けてください。

**LED定常光** カメラを光源に向けてください。

**スタジオのストロボとオフカメラフラッシュ** 被写体の位置に立ち、カメラをメインライトに向けて下さい。

**フラッシュ使用時のシャッタースピード** シャッタースピードを変えると、環境光とフラッシュの照明比率が変わります。最良の結果を得るためには、ホワイトバランスの設定に使用したのと同じ露出（シャッタースピード）で被写体を撮影してください。

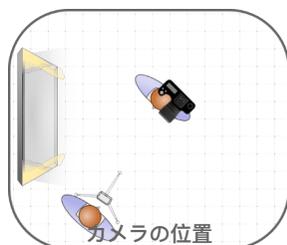
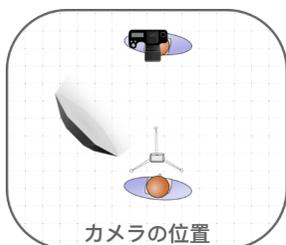
**オンカメラ（バウンスフラッシュ）** 天井や壁がバウンスフラッシュの色を変えることがあります。ホワイトバランスを設定する際は、カメラとフラッシュをバウンス（反射）させる場所（天井、壁）に向けてください。

**オンカメラ（ダイレクトフラッシュ）** カメラの内臓フラッシュを使用する場合、ExpoDiscでカスタムホワイトバランスを設定することはお勧めしません。ExpoDiscは入射測光ツールであり、カメラの内臓フラッシュの測光には使用できません。

## 露出の測光（オプション）

露出を測光する場合は、カメラを被写体の位置に向けてから撮影位置まで戻すことが重要となります。

1. **マニュアルモード** カメラをマニュアルモードに設定します。
2. **ExpoDiscの取付** ExpoDiscをカメラのレンズの前に取り付けます（または手持ちでかざします）。
3. **入射光の測定** 被写体の前の位置に立ち、カメラを被写体に向けてください。



4. **カメラメーターの確認** ビューファインダーでカメラのメーターを確認します。メーターが適正露出「0」を示すまで、「絞り」、「シャッタースピード」、「ISO」を調整します。

**5. テスト画像の撮影** ExpoDiscを用いたテスト画像を撮影し、ヒストグラムをチェックして、スパイクが中央にあることを確認します。

**6. 設定完了** ExpoDiscを取り外して被写体を撮影します。

ExpoDisc v3 プロフェッショナル ホワイトバランスフィルターは、写真用露出計のANSI規格と一致するように、光透過率が14%にアップデートされました。



## センサーダストのチェック、またはダストマップの作成（オプション）：

**1. レンズへの装着** ExpoDiscの平らな面をレンズの前面に取り付け、もしくは手持ちでレンズにかざします。

**2. 絞り優先** f/16に設定 絞り優先モードを選択し、絞りをf/16に設定します。

**3. 無限大にピントを合わせる** レンズをマニュアルフォーカスモードに設定し、ピントを無限大に合わせます。

**4. カメラを向ける** カメラを最も明るい光源に向けてください。

**5. 写真撮影** シャッターを切り、ExpoDiscを用いた参照画像を撮影します。これは画像編集ソフトで「ダストマップ」を作成するために使用できます。

**6. 参照画像を確認** 参照画像上に現れるスポット（斑点）は、カメラセンサー上にホコリなどの汚れが存在することを示しています。撮影後の編集で画像から斑点を取り除く場合は、参照画像を使用して、編集ソフトウェア用のダストマップを作成できます。

